

科目	交通計画 (Traffic Planning)		
担当教員	橋本 渉一		
対象学年等	都市工学専攻・1年・後期・選択・2単位 (学修単位II)		
学習・教育目標	工学複合プログラム	A-4-4(100%)	JABEE基準1(1) (d)1,(d)2-a,(d)2-d,(g)
授業の概要と方針	道路交通において自動車交通流の理論解析および実測を行い比較検証する。交通機関と環境問題門について理解を深める。交通需要予測手法について学び、社会経済と交通網の発展、都市活動と交通需要マネジメントについて理解を深める。		
	到達目標	達成度	到達目標毎の評価方法と基準
1	【A-4-4】国土整備と交通体系との関係が理解できる。		国土の社会資本整備と総合交通体系の関係が理解できているか、中間試験で評価する。
2	【A-4-4】都市基盤施設と交通施設との関係が理解できる。		都市基盤整備と都市交通施設の関係が理解できているか、中間試験で評価する。
3	【A-4-4】自動車交通流を流体として捉える理論、CO2排出量などの環境問題が理解できる。		自動車交通流とその環境問題が理解できているか、レポートおよび中間試験で評価する。
4	【A-4-4】交通需要予測手法のフローが理解できる。		交通需要予測手法の4段階推定法および分布交通量の推定法であるフレーター法の計算が理解できているか、レポートおよび定期試験で評価する。
5	【A-4-4】都市内の自動車交通抑制のための交通需要マネジメントが理解できる。		交通需要マネジメントが理解できているか、定期試験で評価する。
6			
7			
8			
9			
10			
総合評価	成績は、試験85%、レポート15%として評価する。試験成績は中間試験と定期試験の平均点とする。100点満点で60点以上を合格とする。		
テキスト	交通計画, 石井一郎・湯沢昭他(森北出版) 授業時配布のプリント		
参考書	交通計画学[第2版], 樗木他(共立出版) 都市交通計画, 新谷洋二(技報堂) [新版]交通工学, 竹内他(鹿島出版会)		
関連科目	都市システム工学, 数理計画学, 都市交通計画学, 交通システム工学, 都市計画		
履修上の注意事項			

